

「ニュース女子」放送への抗議声明

去る1月2日および9日、東京メトロポリタンテレビジョンが放送した「ニュース女子」が、報道の原則であるところの公正な取材を行わないまま、差別意識に満ちた虚偽の内容を放送し、沖縄に対する誤解と悪意を全国に拡散したことについて、ここに強く抗議する。

政府が強行する辺野古新基地、また高江集落を包囲するオスプレイ用ヘリパッド建設について、沖縄県民の大勢が反対していることは、知事選挙はじめ世論調査等で繰り返し示されており、沖縄の民意を受けた翁長県政が示してきた通りである。ところが、東京MX「ニュース女子」番組は、辺野古新基地建設反対、高江オスプレイ・ヘリパッド建設反対の沖縄の民意を歪曲し、必死で反対行動を行っている市民らが「日当」を貰って活動しているかのごとき悪質な報道をした。現場で抗議行動を行っている市民らは、自らの意思で無報酬で抗議活動をしているのであり、許しがたいデマというほかない。そのような疑惑が存在すると言うのならならば、市民に綿密に取材した上で公正な報道を行うべきである。「ニュース女子」は、市民を中傷する勢力にのみ一方的に偏って見解を述べさせ、「テロリスト」などと悪質なレッテルを貼り、当事者の声には一切耳を傾けなかった。中傷者の見解は、市民が救急車を止めた、機動隊員が暴力を振るわれた等、明らかな虚偽が多く、見過ごすことはできない。なお、高江や辺野古の新基地反対運動が、「日当」の「黒幕」と中傷された「のりこえねっと」の資金によって成り立っているかのごとき虚偽の報道は、必死に闘っている老若男女の大多数の県民に対する侮辱であり名誉毀損そのものである。

「ニュース女子」の放送は、無知・無理解にとどまらず、沖縄への根深い差別意識に基づいていることは明白である。そのことは、2016年10月に発生した機動隊員によるヘイトスピーチ、「土人」発言について、それを批判するどころか、逆に正当なものであるかのように出演者らが反応している点に、端的に示されている。

差別と虚偽が公共の電波で放送、拡散され、それが放置されることは、人権および放送法とジャーナリズムの倫理において許されるものではない。あってはならない。我々は、東京メトロポリタンテレビジョンに対し、厳重に抗議するとともに、次のことを要求する。

- 一、なぜ差別と虚偽に満ちた番組が放送されたか、同番組枠で検証し、訂正すること。
- 一、検証の結果と謝罪を、東京MXニュースで放送し、ホームページに載せること。
- 一、真に公正に沖縄を取材した一時間の番組を放送すること。

2017年1月27日

ヘイト放送に抗議する沖縄有志一同（五十音順・賛同者が増え次第追加）

安慶名奈々

へり基地反対共同代表・安次富浩、池宮城紀夫

平和市民連絡会共同世話人・高里鈴代、目取真俊